

創造的コラボレーションとは？

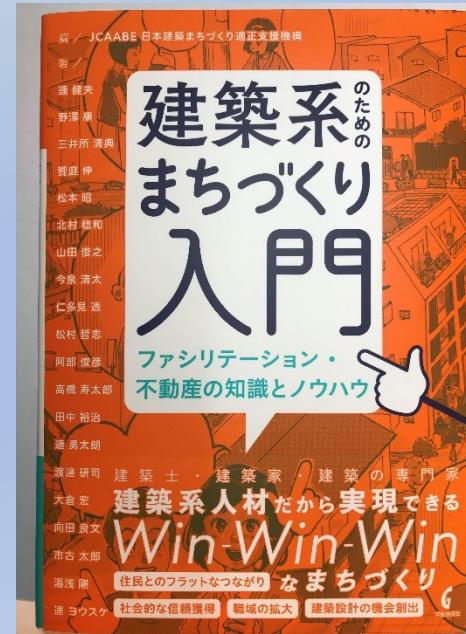
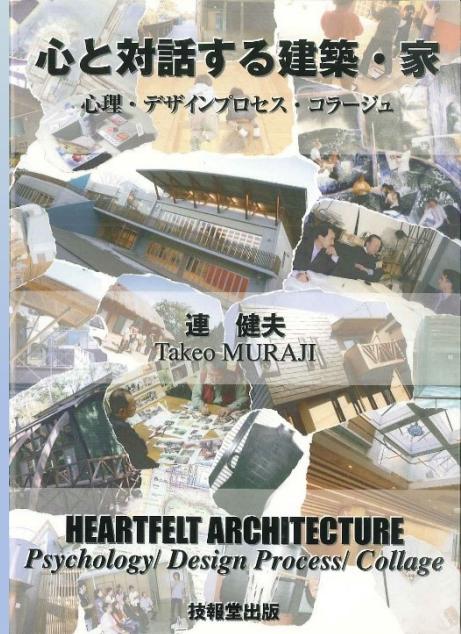
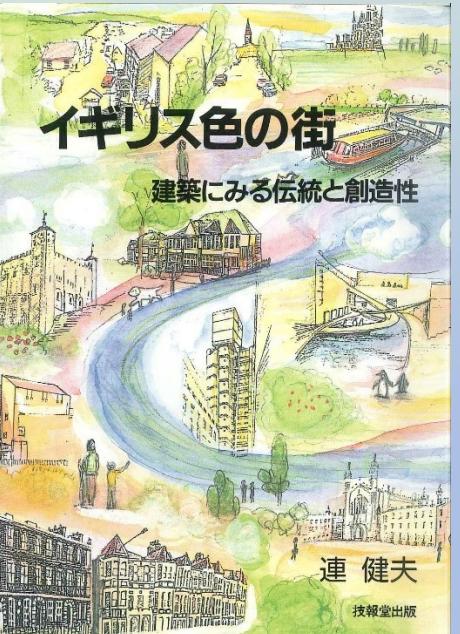
日本室内空気保健協会2025.11/11

連健夫(むらじたけお)

建築家・日本建築まちづくり適正支援機構代表理事



1956年、京都市生まれ、東京都立大学大学院修了、建設会社10年勤務の後、胃の手術がきっかけとなり、
1991年、渡英、AAスクール留学、AA大学院優等学位取得の後、同校助手、在英日本大使館嘱託、
1996年、帰国、建築設計の傍らまちづくりに関わっている。早稲田大学、芝浦工業大学講師、
港区まちづくりコンサルタント、港区景観アドバイザー、2017年～日本建築まちづくり適正支援機構代表理事
※ルーテル学院大学新校舎(JIA優秀建築選)はくおう幼稚園(栃木県建築景観賞)荻窪家族レジデンス(グッドデザイン賞)
→参加の設計・まちづくり



今、なぜコラボレーション(協働)なのか？

- ①価値観が多様化し、1つの専門分野では解けない課題が 増えてきた。
- ②科学は、分化させて追及することにより発展してきたが、世の中の事象はすべて複合的であり、
成果物が不十分に感じられるようになってきた。
- ③成功体験に基づいた一義的思考が、コラボ（協働）の
機会をつくることを妨げてきた。

☆良質な空気づくりは複合的

創造性とは？

フロイト：
告白→解明

アドラー：
告白→解明→教育

ユング：
告白→解明→教育→変容
(創造性のプロセス)

心の構造

フロイト：
無意識と
意識の世界の発見

自我
Ego

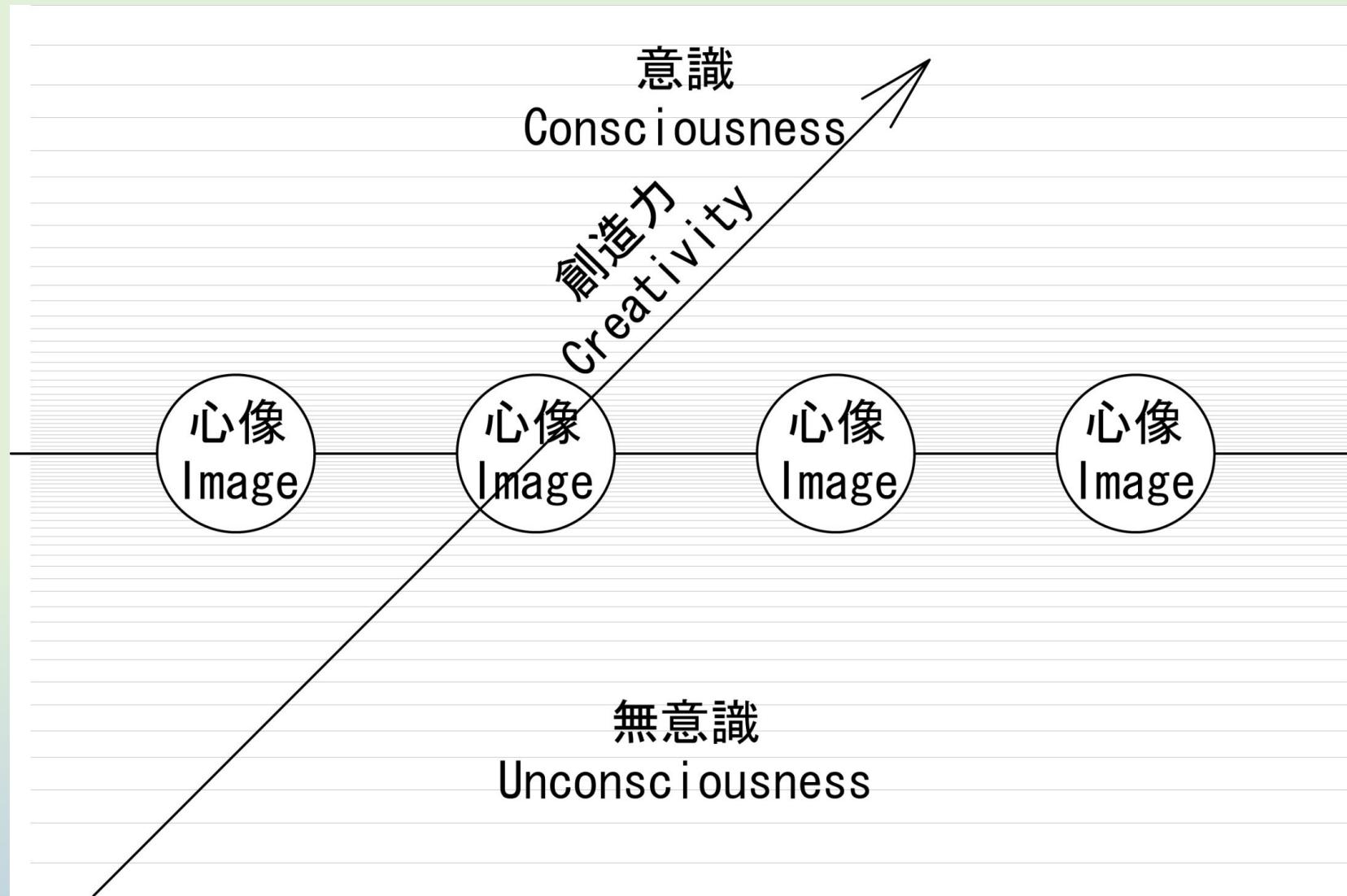
意識
Consciousness

自己
Self

無意識
Unconsciousness



創造力のメカニズム: 何かを無意識から意識化するのが創造力



心像→普段意識していないもの→双発的きっかけ→コラボ(体験的)





ユーザー参加(コラボ)で建築をつくる

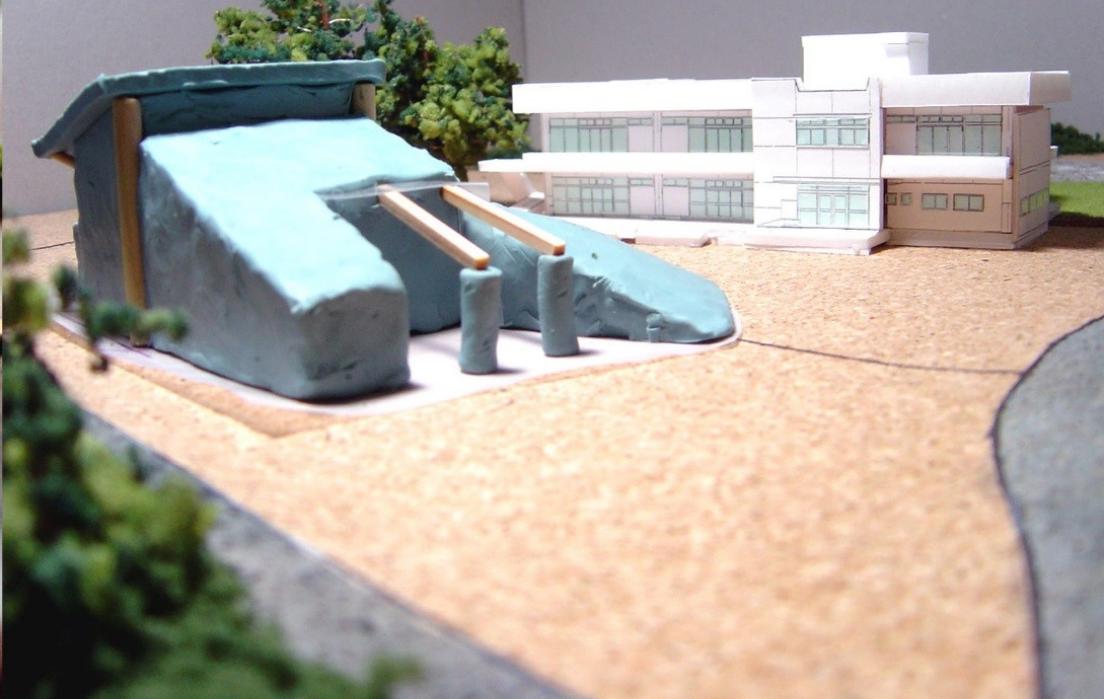




白鷗幼稚園おもちゃライブラリー（栃木県建築景観賞）































ルーテル学院大学新校舎（日本建築家協会優秀建築選）

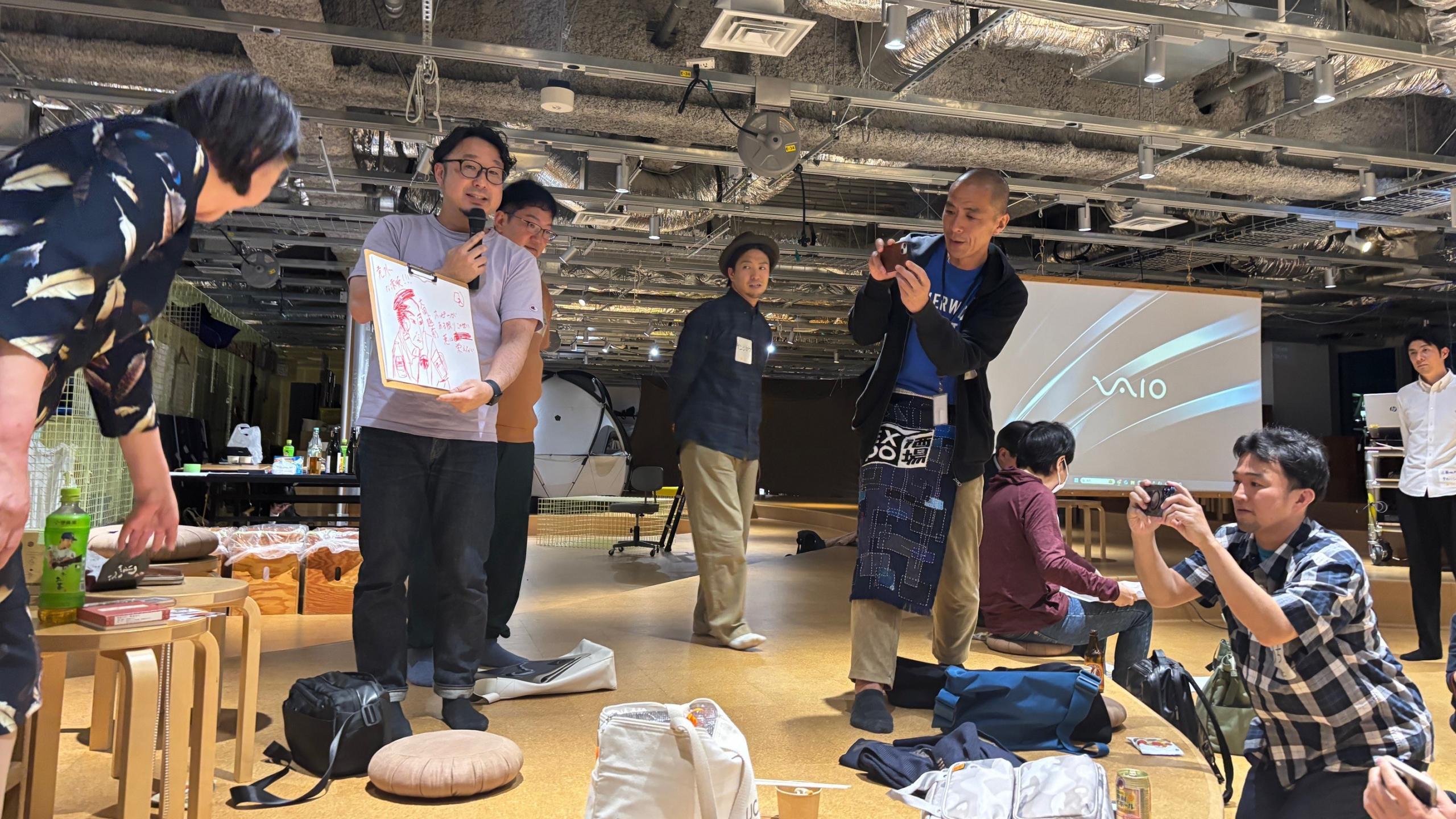




TRINITY HALL



まちづくりでのコラボ







皆のコラボで赤坂の熊手完成！
→大阪万博のお祭りイベントへ



まちづくりはコラボレーション

- ・様々な立場、背景を持つ人が集まるプラットフォーム。
- ・意見の違いはあるが、良い街をつくりたいの思いは同じ。
- ・人と人をつなぐコラボレーションの機会となる。
- ・様々な意見をまとめるための技術（ファシリテーション）が求められる。

☆人と人を繋ぐ職能：ファシリテーター

参加のデザイン（コラボレーション）の背景

- 1995年問題；ウィンドウズ95により簡単に専門的知識を手に入れることができるようになった。→先生と呼ばれる職能の危機
- 成熟社会に向かう中で、一般のリテラシーが上がってきた。
- 一般と専門家の知識をブレンドすることにより、使いやすく、魅力的なものができる、持続可能性につながる。

※専門家には、プレーヤーとしてのデザイン能力と、一般のアイデアを弾き出すファシリテーターの能力が求められるようになってきた。

まちづくりファシリテーターとは？

■ ファシリテーター : **Facilitator**、促進者

1940年代後半に用いられ始めた言葉、当初はグループカウンセリングにおいて、プログラムの進行役として全体をまとめる役割を示していた。それが会議などで、発言や参加を促したり話の内容を整理し、参加者の認識の一致を確認する役割や、まちづくり活動における住民の様々な意見をまとめいく役割などに拡がってきた。

課題を達成すべく、公平な立場に立ち、専門家の言葉を分かりやすく解説したり、住民のつぶやきを意味ある言葉に翻訳するなど、様々な立場の意見をまとめる**調停者**の役割を担う。

JCAA BE 日本建築まちづくり適正支援機構 とは？

- ・良質な建築、美しいまちづくりを目的に設立された一般社団法人
- ・このために、建築家、建築士、専門家の研鑽、セミナー、資格を扱っており、現在200名の会員が登録をしています。
- ・認定まちづくり適正建築士、建築系ADR調停人など、建築士や建築家の資格やセミナーのみならず、**誰でも受講できる「まちづくりファシリテーター」資格・講座を設けました。**
- ・この講座プログラムは、2019～2020年度の文科省委託事業「地域期産業中核的人材育成事業」により作られ、
2024年に日本建築学会教育賞と日本工学教育賞を受賞しました。



タカラとアラを見つける
まち歩きワークショップ

ビジョンづくりワークショップ

赤坂通りまちづくり協議会でのファシリテーション
(当方の立場；港区まちづくりコンサルタント)

赤坂通りまちづくりビジョン（第1回）



対象地域：旧日大三高通り沿道地域

「赤坂通りまちづくりの会」
赤坂の2, 3, 5, 6, 7,
今回、ビジョンの登録におい
ては、旧日大三高通り沿道地域を対
象としたまちづくりビジョンの登

- ①区域内の在住民の過半数
- ②対象区域が他のまちづくり
- ③土地、建物に係る権利を有す
- ④説明会の開催等により事前
周知し、その意見を聴いて

となっており、比較的皆様の
ことで設定しました。今後、
ルールづくりが行われ、活動
この範囲を広げていく予定で
是非、この第1歩でございま
ビジョンに賛同して頂ければ

連絡先：○
事務局

【花咲か赤坂】

そぞろ歩きが楽しめ、
ときめきの出会いがあり、
住む人、働く人、訪れる人
皆にとって優しい街、
子供が楽しめる育遊の街、
バリアフリーで広い空のある街、
緑が豊かで植栽が楽しめる街、
まちづくりを目指します。
「美しいこと」「栄えること」
の意味から
【花咲か赤坂】
をコンセプトワードとします。



建築計画側がまちづくり協議会に説明
住民から意見をまとめ、要望を出す



3ヶ月後に要望を取り入れた案が
出てきて拍手！

まちづくりビジョンに沿って
計画側と住民とで意見交換、協議調整

カイロ旧市街保存まちづくり事業（文化庁委託事業2021～22）

世界遺産のカイロが、不法建築や開発で取り壊されている！
→日本から専門家がオンラインでまちづくりファシリテーション技術を指導





・カイロ訪問、専門家への指導と住民ワークショップを実施
→住民が建築や街の価値を理解し、保存に繋がる



JCAABEまちづくりファシリテーター養成講座修了証を授与 →専門家参加のモチベーション

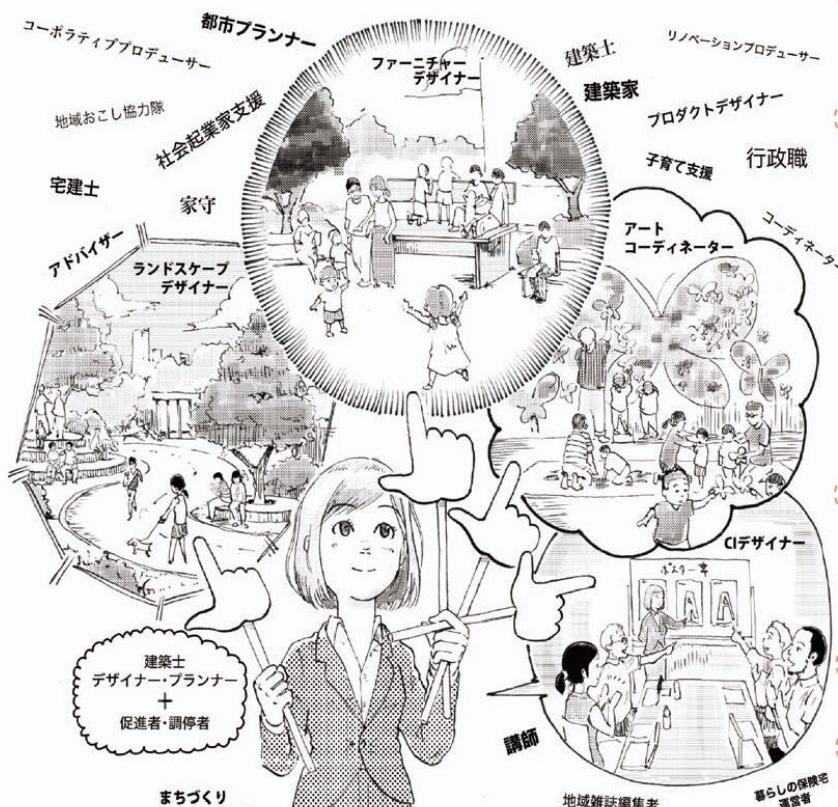


建築系・まちづくり系 まちづくりファシリテーター養成講座

*JCAABEで運営、実施

あなたも街のキーパーになりま

街には、空き家や中心市街地活性化などの課題があり、建築には新築のみならずリノベーションなど編集設計が求められています。これには多様な知識を持つ、まちづくりファシリテーター（促進者・調停者）が必要であり、ここに建築系・まちづくり系の学生、実務者向けの養成講座を設けました。この機会に受講し、社会のニーズに応えられる専門家を目指しましょう！



まちづくりファシリテーター養成講座カリキュラム			
分野・領域	プログラム名	内容・ねらい	担当講師(演習課題出題)
1 総合	建築から街へまちづくりファシリテーターとは何か？	まちづくりファシリテーターの概要を理解する	達健夫 (登録建築家/日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)
2 B、都市計画	都市計画の変遷と住民参加の重要性	都市計画の歴史の中での住民参加、専門家、ファシリテーターの役割を学ぶ	野澤康 (工学院大学教授/博士)
3	まちづくりファシリテーターのコミュニケーションスキルと実践	まちづくりファシリテーターのコミュニケーションスキルと実践を学ぶ	松村哲志 (登録建築家/名古屋女子大学)
4	【実践】コミュニケーション技術演習	ロールプレいやディベイトを通してコミュニケーションのスキルを習得する	松村哲志 (登録建築家/名古屋女子大学)
5 C、合意形成ワークショップ	目標イメージ共有のためのワークショップ	まちづくりの目的に応じた手法、参加対象や募集の方法、実践スケジュールの立て方を理解する	阿部俊彦 (立命館大学准教授/博士)
6	目的に応じた合意形成の手法・プロセス	まちづくりの具体的な手法を学ぶ、自己紹介、合意形成、街歩き、KJ法、コラージュの方法を理解する	達健夫 (登録建築家/日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)
7	【実践】ワークショップ演習 (KJ法・コラージュ)	KJ法、コラージュづくりを実際にを行い、プロセスと留意点を学ぶ	達健夫 (登録建築家/日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)
8 B、都市計画	地域特性を活かすルール、規制や法律、まちづくり条例とは？なぜまちづくりにルールが必要なのか、地域特性を活かすルール、規制、法律、まちづくり条例について学ぶ	達健夫 (登録建築家/日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)	
9 E、修復・防災・エネルギー	自然災害にそなえる事前復興まちづくりの方法論	事前復興まちづくり訓練、防災やフェーズフリーデザインを理解する	市古太郎 (東京都立大学教授/博士)
10	【実践】事前復興まちづくり演習	事前復興まちづくりワークショップの演習	市古太郎 (東京都立大学教授/博士)
11 A、建築デザイン	建築・まちづくり実践と建築士の役割	事例を通して建築とまちづくりとの関係、建築士の多様な役割を学ぶ	三井所清典 (登録建築家/まちづくり専攻建築士/アルセツト建築研究所/芝浦工業大学名誉教授)
12	建築設計における参加型のデザイン	建築設計における参加型の設計プロセスを事例を通して学ぶ	達健夫 (登録建築家/日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)
13	【実践】参加型デザインによる実例見学	参加型の設計プロセスによってできた事例を訪問、見学し、利用者へのヒアリングを含め、学ぶ	達健夫 (登録建築家/日本建築まちづくり適正支援機構代表理事)
14	リノベーションまちづくりの動きと実践	リノベーションとは何か？まちづくりとの関係、事例を通して学ぶ	連勇太朗 (建築家/NPOモクチン企画)
15	【実践】リノベーション技術・実習	リノベーションの演習課題を行い、それを通して、スキルの習得と共に留意点を学ぶ	連勇太朗 (建築家/NPOモクチン企画)
16 E、修復・防災・エネルギー	自然環境・エネルギーを取り巻く状況とまちづくりとの関係	SDGsとまちづくりの関係、エネルギーとまちづくり、省エネ技術について学ぶ	北村稔和 (株家フリマ代表)
17	【実践】エネルギーとまちづくりの実践	スマートタウンの実践事例を通して、エネルギーとまちづくりを捉える	北村稔和 (株家フリマ代表)
18 A、建築デザイン	耐震化、不燃化、インスペクションの実際	インスペクション、耐震化、不燃化の技術、方法、助成制度の仕組について各種構造別に理解する	向田良文 (建築家/デザインタック代表)
19	【実践】インスペクション演習	インスペクション、耐震化と不燃化の技術を用いた演習を行う	向田良文 (建築家/デザインタック代表)
20 E、修復・防災・エネルギー	地域資源としての文化財の保存と活用	保存、修復とまちづくり、歴史的建築物と近代建築の保存、利活用を学ぶ	渡邊研司 (東海大学教授/博士)
21	【実践】修復実例見学	保存、修復事例を訪問、見学する。関係者からの説明を含め現状の課題を理解する	大倉宏 (美術評論家)
22 D、不動産・経営・税	建築と不動産、エリアマネジメントをつなぐ基礎知識	建築と不動産、経営、税金についての基本を理解する	高橋寿太郎 (株創造系不動産代表)
23	【実践】建築と不動産演習	建築と不動産、経営等を捉えて、演習を行う	高橋寿太郎 (株創造系不動産代表)
24	宅建士に学ぶストックさせないマッチング術	今後の不動産業、宅建士の役割、マイナス不動産の活用を学ぶ	田中裕治 (宅建士/全国空き家流通促進機構代表)
25	【実践】今後の不動産、宅建士演習	不動産業の初步的実務の演習を行い、その特徴と留意点を学ぶ	田中裕治 (宅建士/全国空き家流通促進機構代表)
26 B、人口減少社会	人口減少社会における空き屋・空き地という課題	空き家空き地の課題、その解決策、行政の対応や助成制度、扱い手について学ぶ	齋庭伸 (東京都立大学教授/博士)

コラボレーション（協働）に必要なもの

- ・ネガティブケイパビリティ
→ネガティブなものを抱えておく能力

帚木蓬生

Hokaku
Hakubusho

ネガティブ・
ケイパビリティ
答えの出ない
事態に耐える力

生きづらさ、先が見えない不安……
早急な結論、過激な意見にとびつかず、
すぐに解決できないことには、「
「忍がす、焦らず、耐えていく」力
=ネガティブ・ケイパビリティ
が必要です。
8.8万部突破
帚木蓬生 入試問題に頻出。

Negative
Capability

ネガティブ・
ケイパビリティ
のススメ

答えを
急がない
勇気

枝廣淳子

窮屈を嫌られる層やの場面
会社・学校・家庭・地域社会

「わからぬ」
不安も受け取れ、
問題解決に
貢献するための
指南書

早さ・効率
だけでは解決しない!

帚木峰生（精神科医）

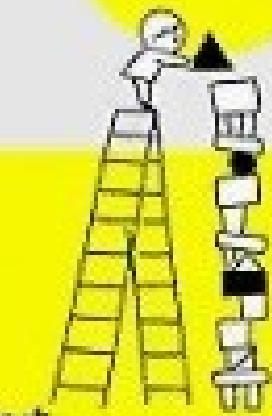
枝廣淳子（ジャーナリスト）

Living with a Negative Capability

ネガティブ・
ケイパビリティ
で生きる

谷川嘉浩
朱喜哲
杉谷和哉

答えを急がず
立ち止まる力



「わからぬ」を
抱えながら
生きる方法を
氣鋭の哲学者たち、
熱論!
貴様や列祖の潮流にさらされるが過社会に
必要なのはネガティブな力!

さくら舎

谷川嘉浩（哲学者、社会学者）

なぜ今、ネガティブケイパビリティが
注目されているのか？

答えをすぐに出すのを良しする現代社会の問題
→コスパ、タイパなどの意識の弊害

※より良い解決案を生み出す機会を失ってしまう。

ネガティブケイパビリティで なぜ、より良い答えを出せるのか？

- 熟考する時間が与えられる。 → 別な機会に再考
- 他の人からヒントを得られる機会が生まれる。 → コラボ
- 状況や背景が時間の経過により変化する。
- キーパーソンの意識が変わり、状況が好転する。

ネガティブケイパビリティは なぜ獲得しにくいのか？

- 教育環境や家庭環境が、すぐに答えを求める
がちで、ネガティブなものを抱える力
(問い合わせを維持する能力)
を養う機会が得られない。

ネガティブケイパビリティを育てる方法

- ・すぐに答えを求める。ゆっくり考えても良いと幅を持たせる。
- ・あえて、すぐに答えを出さず、時間をかけてみる。
- ・考え過ぎず、一旦やめて別なことをする。→**考えを歩かせる**。

(行動することによって考えが深まる、アイデアが出てくる)

- ・自分の答え以外に他にも答えがあるはず、自分が主張し過ぎることで、他の答えが出る機会を無くすのでは、と捉える

コラボレーションの特徴

- やや時間がかかる。(仕組み、人間関係、手続き)
- 多様な人が関わる。(価値観、バックグランドの違い)
- 一人では決められない。
相手のペースに合わせる寛容性が求められる。
- 話し合いが求められる。(参加と共有)
- 合意形成が必要(オープンな雰囲気と民主主義)

ネガティブケイパビリティと創造的コラボの留意点

- ・若い人の参画→提案を直ぐに判断せず受け入れる**寛容性**
- ・多くの人の意見を聞き、時間をかけて課題を熟成させる。
- ・分からぬことや困っていることをオープンに共有する。

(みんなでネガティブ課題を留保する)

- サポートくれる人が現れ、仲間が増える(余白が誘い)
- ・大切なのは、自分もコラボから学ぶことができる
フラットで謙虚な姿勢

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



17 パートナーシップで目標を達成しよう→コラボの大切さ

コラボの良さはブレンドの良さ

